

科目構成

アカデミック科目

専門の研究活動で求められる知識・能力を身に付けることを目指します。

AJプレゼンテーション
 AJリーディング
 AJライティング
 AJコミュニケーション

スキル別科目

研究を始めるにあたって、必要なスキルを強化することを目指します。

口頭表現
 文章表現
 読解(文法・語彙)
 漢字・語彙

専門への入門科目

人文社会系の研究で必要となる背景知識を身に付けることを目指します。

読解(作品鑑賞)
 古典入門

科目内容

科目名	曜日 時限	担当 教員	内 容
AJ プレゼンテーション	水 5	近藤	聞き手に理解してもらうためには、どのような手法が有効かに焦点をあて、話題のしぼり方、話の展開方法、効果的な資料の用い方（パワーポイント、レジュメの作り方）などを学びます。また、授業では、スピーチなどを積極的に取り入れ、フィードバックの機会をたくさん設けていきます。 (定員20名)
AJ リーディング	火 4	向井	さまざまなタイプの論文を読むことを通して、論文の構造、論の展開、論文特有の表現を学びます。また、論文を批判的に読み、その結果を発表する活動も行います。この授業の内容は「AJライティング」で学ぶ内容と連動していますので、同時に受講することをお勧めします。 (定員20名)
AJ ライティング	月 4	向井	日本語でレポートや論文を書くために必要となる基礎知識を身に付けることを目指します。サンプルとなるレポートや論文の文体や文章構成の特徴を学びつつ、指定されたテーマで論文を仕上げて行く練習をします。最後は実際に各自のテーマで小論文を書いてみます。「AJリーディング」と同時に受講することをお勧めします。 (定員 15 名)

AJ コミュニケーション	木 3	中込	大学院生を主対象として、研究に必要な、アカデミックスキルを身につけることを目指します。研究過程での公式・非公式のディスカッションにも対応できるようにインターアクションを重視し、皆が興味を持てるテーマを取り上げて、レジュメを作成して発表やディスカッション等を行います。 (定員 20 名)
文章表現	水 4	近藤	さまざまなジャンルの文章を取り上げ、その中で使われている言葉や表現の意味を自らの言葉で説明したり、それらの言葉や表現を使って作文したりします。また、作者の意図の要約文や、指定されたテーマについての意見文など、まとまりのある文章の作成練習も行う予定です。このような活動は記述試験のトレーニングとしても有効です。 (定員 15 名)
口頭表現	木 4	中込	人間関係や場面、内容に応じて適切に話す力を伸ばしたり、より自然でなめらかな日本語が話せるように、音声面の訓練を行ったりします。具体的にはスピーチ発表や会話、シャドーイング（発音・アクセント）等を行います。話すための正確な聞き取り練習も予定しています。 (定員 15 名)
漢字・語彙	火 2	向井	漢字の字形を正確に覚え、語彙知識を広げることを目指します。授業では、漢字の言葉を使って作文したり、その言葉の意味の説明文を作ったりする活動を行います。また、毎回自分で作成したテストを解く活動を行い、語彙知識の着実な定着を目指します。漢字を使わない地域からの学生だけでなく、漢字語彙の読み方や使用法に自信のない漢字圏の学生も歓迎します。 (定員 15 名)
読解 (文法・語彙)	月 5	向井	さまざまな文章を読み、その文章構成を把握し、作者の意図を捉える練習を行います。また、それらの文章の中で使われている重要な文型・語彙を取り上げ、それが使えるようになるための練習も行って、文法・語彙知識を強化することも目指します。 (定員 15 名)
読解 (作品鑑賞)	水 3	山口	論説文、意見文、エッセイ、文学作品等様々なジャンルの文章に触れ、その文体の違いや言葉の選び方などから、執筆者の個性や意図を感じ取る力を養うことを目指します。クラスでは、特定のテーマで実際に執筆も行います。 (定員 20 名)
古典入門	水 4	山口	古典の学習経験がない人を対象に、古典日本語で書かれた文章を読むための技術を基礎から学びます。授業では、文法・言葉・時代背景を学びながら実際に簡単な文章読解にも挑戦します。 (定員 15 名)

*使用教材については授業で説明します。教科書を買う必要があるかどうかは、科目によって異なりますので、担当教員の指示に従ってください。